

鳥取県地域防災計画（原子力災害対策編）、広域住民避難計画の修正（案）概要（平成26年度）

背景

①原子力防災施設・資機材に係る初期整備の進捗

②原子力防災訓練等を通じた見直し

③島根原子力発電所に係る対応の強化

④国の体制や指針類の整備・充実

鳥取県地域防災計画（原子力災害対策編）

主な修正項目

原子力防災施設・資機材に係る初期整備の進捗

- 緊急事態対処センター（TERC）の整備、モニタリングデータの統合、放射線防護対策施設の整備、ホールボディカウンタの整備を反映

原子力防災訓練等を通じた見直し

- 避難退域時検査等の際の避難住民への支援（情報提供等）を追加
- 原子力防災訓練で新たに取り組んだ車両への避難退域時検査等の実施を追加
- 避難時における警察等実動機関の現地における連携を追加

島根原子力発電所に係る対応の強化

- 原子力安全に関する幅広い分野の専門家から指導・助言を得るため、原子力安全顧問を設置（従前の原子力防災専門家会議を廃止）し、体制強化を図ったことに伴う修正
- 原子力事業者による避難・一時移転等の防災対策への協力を追加

国の体制や指針類の整備・充実

- 島根地域ワーキングチーム（内閣府）における広域避難の対策推進を明確化
- 原子力防災体制の充実・強化のため、内閣府に専任体制が新設されたことに伴う修正
- 平成26年8月に緊急時モニタリング計画を策定（規制委員会文書に合わせ、従前の計画を標準化）したことに伴う修正
※緊急時モニタリング計画（人形峠環境技術センタ一分）は年度内に完成予定
- 規制委員会文書において避難退域時検査（スクリーニングからの切り替え）が導入されたことに伴う修正

鳥取県広域住民避難計画

主な修正項目

原子力防災訓練等を通じた見直し

- 避難中の住民に対する支援（避難支援ポイント）を追加
- 国道431号が使用可能な場合の避難車両の誘導を追加
- 避難時における警察等実動機関の現地における連携を追加
- 避難元と避難先のマッチングについて、一時集結所、避難経路等も含めて避難受け入れに係る一連の情報をマッチング表として整理
- 付属資料を追加（気象状況等）及び修正

島根原子力発電所に係る対応の強化

- 原子力安全に関する幅広い分野の専門家から指導・助言を得るため、原子力安全顧問を設置（従前の原子力防災専門家会議を廃止）し、体制強化を図ったことに伴う修正
- 原子力事業者の避難・一時移転等の防災対策への協力を追加

国の体制や指針類の整備・充実

- 平成26年8月に緊急時モニタリング計画を策定（規制委員会文書に合わせ、従前の計画を標準化）したことに伴う修正
- 規制委員会文書において避難退域時検査（スクリーニングからの切り替え）が導入されたことに伴う修正

今後の課題

国の原子力災害対策指針において、今後改定が見込まれる事項への対応

避難退域時検査等の実施方法の確立、実用発電用原子炉以外（人形峠環境技術センター）の緊急事態区分及びEPZ等の見直し、放射性プルームの影響を考慮した防護措置 など